

牛乳消費拡大応援条例（案）に対する意見募集結果

◆はじめに

牛乳消費拡大応援条例（案）について、町民の皆様から寄せられたご意見の概要と、これらに対します町の考え方を下記のとおりお示しします。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

◆ご意見の募集結果

- 【案件名】 牛乳消費拡大応援条例（案）
【募集期間】 平成26年2月1日（土）～平成26年2月28日（金）
【意見総数】 1件（1人）

【内訳】

【修正】 案を付加・修正するもの	0件	【電子メール】	1人
【既掲載】 既に案に盛り込んでいるもの	0件	【郵送】	0人
【参考】 今後の参考とするもの	0件	【FAX】	0人
【その他】 意見として伺ったもの	1件	【直接持参】	0人

◆ご意見の概要と町の考え方

ご意見の概要と町の考え方及び最終案は以下のとおりです。

牛乳消費拡大応援条例（案）に対する意見の概要と町の考え方

中標津町牛乳消費拡大応援条例（案）

牛乳消費拡大応援条例（案）に対する意見の概要と町の考え方

町民等の意見の概要	件数	意見に対する町の考え方
<p>今も一部のスナック等で乾杯用に牛乳を出していますし、結婚式や町主催の行事等で乾杯に牛乳を使っていますし、地元の特性にあった良い条例だと思います。</p> <p>条例制定理由にある『中標津町牛乳消費拡大推進委員会』から、『牛乳で乾杯する条例』制定の提案がされました。とあるように、「牛乳消費拡大応援条例」より『牛乳で乾杯する条例』の方がより条例の中身が分かりやすいのではないのでしょうか？</p> <p>条例の名前はあまり硬く表現しない方が、広く受け入れられやすいと思います。</p>	<p>1</p>	<p>条例名については、様々な意見がありました。その中には『牛乳で乾杯』や『もっと牛乳を飲もう』等を条例名に使った方がインパクトがあり分かりやすいのではとの意見もありました。</p> <p>反対に飲用だけではなく、牛乳を料理に使ってもらうためにも、広義に解釈できるような名称にすべきではとの意見もありました。町としては、今回の条例制定が、牛乳消費拡大が主たる目的であることから、そのことがストレートに伝わることを意図として、牛乳消費拡大応援条例としたところです。</p>

中標津町牛乳消費拡大応援条例(案)

(目的)

第1条 この条例は、基幹産業を酪農とする当地域で生産される牛乳が、常に日本のトップクラスの品質であることに誇りを持ち、広くアピールすることで、牛乳の消費拡大と、乳製品食文化の普及継承を促進し、もって地域酪農文化の理解と郷土愛の醸成を図ることを目的とする。

(町の役割)

第2条 中標津町（以下「町」という。）は、牛乳生産に関わる関連事業者（以下「関連事業者」という。）と協力し、牛乳の消費拡大と、乳製品食文化の普及継承の啓発活動に努めるものとする。

(酪農生産者の役割)

第3条 酪農生産者は、牛乳の消費を促進するための活動に主体的に取り組むとともに、町、関連事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

(町民の協力)

第4条 町民は、牛乳を使用した郷土料理と食文化を学び、継承することに協力するものとする。

2 町民は、町内で行われる飲食物が提供される会食等において乾杯が行われる場合、可能な範囲において牛乳で乾杯し、その普及促進に協力するよう努めるものとする。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。